

2013年2月13日

適格消費者団体  
特定非営利活動法人 消費者支援機構関西  
理事長 榎 彰徳 様

ユービーエス・グローバル・アセット・マネジメント株式会社  
代表取締役社長 岡村 進

再お問い合わせについての回答

本年1月22日付の貴団体の再お問い合わせについて、以下の通り回答いたします。なお、本書面において「本件目論見書」とは昨年10月30日付貴申入書に記載されたものと同じ意味で使用いたしております。

1. 本件目論見書の改訂時期について

昨年11月28日付の弊社回答書に記載しました通り、弊社は、貴申入書の内容を真摯に受け止め、投資家の皆様にとってよりわかりやすい説明を目指し、本件目論見書の属性区分以外の箇所における「為替ヘッジ等」の記載の変更を検討してまいりました。

ご指摘のとおり、昨年12月に一般社団法人投資信託協会の交付目論見書の作成に関する自主規制ルールの改正案が公表されました。今般、同改正案に対するパブリック・コメントの結果及び最終的な同協会の考え方が示され、それらが弊社の検討している改訂案と同様の内容であることが確認できたことを受けまして、本件目論見書につき、以下のスケジュールで改訂を行う予定です。

ファンド名	改訂予定日
UBS 世界公共インフラ債券投信（通貨選択型）	本年4月中旬頃

2. 変更内容について

貴団体からのご指摘に関連する本件目論見書の変更内容は以下の通りです。

(1) 文言の変更

現行	変更後
為替ヘッジ取引	為替取引
為替ヘッジプレミアム	為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益） 又は プレミアム（金利差相当分の収益）

為替ヘッジコスト	為替取引によるコスト（金利差相当分の費用） 又は コスト（金利差相当分の費用）
ヘッジ対象通貨	為替取引対象通貨

(2) 説明文・イメージ図等の変更・追加

上記(1)の変更に加えて、本件目論見書の記載が投資家の皆様にとってよりわかりやすい説明となるよう、5つの通貨コースの特徴、各通貨コースの収益源及び投資リスクについての説明、イメージ図、並びにイメージ図その他の箇所における注記等を追加する予定です。

以上